

(様式1)

## 自 己 評 価 表

愛媛県立今治北高等学校

学校番号(16)

教育方針	志を高く持ち、自ら学び考え行動する生徒の育成を目指す。	重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来、それぞれの場で「一流」が目指せる生徒を育てる。</li> <li>・ 海外留学や研修により、国際的視野と指導力を持つ生徒を育てる。</li> <li>・ 自分のために、そして誰かのために頑張り抜く生徒を育てる。</li> <li>・ 勇気を出して、一歩踏み出せる生徒を育てる。</li> </ul>
------	-----------------------------	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
学習指導	家庭学習の充実	1日平均の家庭学習について1・2年生は3時間以上、3年生は4時間以上を確保させる。	B	6月と11月の2回の調査の平均は、1年商124分、普173分、2年商86分、普182分、3年商124分、普294分であった。2年商以外は昨年度より増加した。2・3年普通科は目標を達成できた。	課題の量や与え方、部活動との両立、生活習慣の見直しなど、様々な観点で考えていく必要がある。
	学習習慣確立への支援	個別指導・サタディスクールによる学習習慣の確立への満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89~80% C:79~75% D:74~60% E:59%以下	B	個別指導の満足度は生徒86%、保護者75%、サタディスクールの満足度は生徒・保護者ともに82%であった。	生徒が意欲的に取り組める指導のあり方を工夫する。
	教科指導の充実	年間に2回以上他の教員の授業を参観する。	B	相互授業参観や各教科の研究授業を参観した。	研究授業等を参観することで教科指導の研鑽を積んでいくことが大切である。
	朝読書の充実	朝読を10分間とし、全校生徒で読破1万冊を目指すとともに言語活動の充実を図る。 A:1万冊以上 B:9,999~9,000 C:8,999~8,000 D:7,999~7,000 E:6,999以下	E	3年生は1月の調査で2500冊であり、1、2年生は3月始めの調査で3600冊であったので、合計6100冊であった。コロナ禍で読書をする時間がとれた生徒もいれば、時間がとれなかった生徒もいたようだ。	継続的に読書の啓発を行うことが必要である。
生活指導	規律ある生活習慣の確立	「遅刻ゼロの日」(開校日で0のつく日を設定)の達成回数を年間12回以上とする。 A:12回以上 B:11~10回 C:9~8回 D:7~6回 E:5回以下	C	1月末現在、「遅刻ゼロの日」実施回数が17回(うち2回は休校)のうち、遅刻ゼロ達成日は8回(53%)であった。」	不登校傾向の生徒が遅刻の大部分を占めており、対応が必要である。その他の生徒については、雨天の日に遅刻生徒が増える傾向にあり、日頃から余裕を持って登校させるように指導していきたい。
		一か年皆勤者率を60%以上とする。 A:60%以上 B:59~55% C:54~50% D:49~45% E:44%以下	A	2学期末の時点で、1年生72.0%、2年生68.5%、3年生73.6%、学校全体71.3%であった。	昨年度より大きく皆勤率を伸ばしたが、二極化の傾向にある。特定の生徒の欠席が多く、長欠の生徒も少なくない。個々に応じた有効な対応を考えていく必要がある。今年度は、新型コロナウイルス対策で出停が認められ、欠席にならなかった生徒がいる半面、欠席しやすい状況にもなったとも考えられる。

生活指導	交通安全指導の充実	交通死亡事故などの重大事故0件、軽微な交通事故年間5件以内とする。	D	重大交通事故0件、軽微な交通事故18件であった。 (2月末現在)	死亡や後遺症に関わる重大交通事故こそなかったものの、軽微な交通事故は頻繁に起きている。自転車マナーに関する苦情も多くあり、交通ルール遵守、マナー指導、登下校指導の徹底等、改善に向けて努力していきたい。
	健康管理指導の充実	生徒の健康や安全に関する指導への満足度85%以上を目指す。 A:85%以上 B:84~80% C:79~75% D:74~70% E:69%以下	A	2学期末に行われた学校評価アンケートの環境美化に関する項目において、肯定的な評価が90ポイントであった。	新型コロナウイルス対策を講じた上で健康・安全に活動できるよう、保健室経営を行う。
	環境美化指導の充実	清掃活動などを通じた環境美化への評価85%以上を目指す。 A:85%以上 B:84~80% C:79~75% D:74~70% E:69%以下	B	2学期末に行われた学校評価アンケートの健康管理指導に関する項目において、肯定的な評価が83ポイントであった。	生徒が安全かつ快適な学校生活を送れるように清掃活動の充実を図る。
	教育相談の充実	生徒の悩みに対する適切な相談・助言への満足度90%以上を目指す。 援助が必要な生徒に対する適切な支援体制を充実させ、生徒・保護者の安心感100%を目指す。	C	昨年と比較すると、SLAと協力し不登校傾向の生徒や悩みを抱える生徒と面談ができた。また保護者への対応もできた。	教育相談室・SLAの存在をアピールし、生徒たちの悩みに寄り添えるようにしたい。課会を定期的実施し情報を共有する。
	特別活動の充実	生徒会活動の活発化への満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89~85% C:84~80% D:79~75% E:74%以下	B	毎週月曜日に生徒会役員で、行事の計画や準備、新たな企画を立案するなど、活発な活動がみられた。	来年度も週一の活動は継続し、既存の行事の充実と新たな企画を実現できるようにしたい。
		学校行事の創意工夫による生徒の満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89~85% C:84~80% D:79~75% E:74%以下	B	新型コロナウイルスの影響で、多くの学校行事が中止や縮小といった対応をせざるを得なかった。それだけに、実施できた行事は、生徒の笑顔が多くみられた。	予定通りに行事ができるようになることを願う。教科学習では学べないことを、学校行事で学び、人間性を高めることができるような学校行事を実施したい。
		ホームルーム活動の満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89~85% C:84~80% D:79~75% E:74%以下	B	アンケートの結果を見ても昨年度よりも良い結果がみられた。行事でホームルームが減ることも少なく、十分な活動がみられた。	臨時の講演などに、ホームルーム活動の時間を安易に利用しないように配慮が必要である。
部活動の活性化	全ての部活動を充実させる。 全国大会出場部数、10部以上 A:10部以上 B:9~7部 C:6~5部 D:4~3部 E:2部以下 県総体出場者数、250名以上 A:250名以上 B:249~245名 C:244~240名 D:239~235名 E:234名以下 高文祭出場者数、100名以上を目指す。 A:100名以上 B:99~95名 C:94~90名 D:89~85名 E:84名以下 部活動の満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89~85% C:84~80% D:79~75% E:74%以下	C	今年度は、新型コロナウイルスの影響で、県総体中止をはじめ各部の大会や競技会が中止となった。そのため、例年のような達成状況を得ることができなかった。	学習との両立を図りながら、一昨年度と同等の結果が出るように各部とも頑張りたい。とにかく、毎日の努力の成果を発表できる状況になることを願う。	

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
進路指導	進学指導の充実	国公立大学への合格者数を商業科 15名以上、普通科100名以上を目指す。 難関10大学及国公立大学医学部医学科10名以上の合格者数を目指す。 A:115人以上 B:114人～105人 C:104人～95人 D:94～85人 E:84人以下 難関大学合格を含め、総合的に判断する。	C	国公立大学合格者数は、総合型選抜と学校推薦型選抜で商業科16名、普通科40名の計56名、一般選抜前期日程が30名の計86名であった。(3月10日現在)難関大学には大阪大学に1名が合格した。	1、2年次から高い目標を持たせ、基本的な学習習慣を身に付けさせる。総合的な探究の時間を利用し、3年間を見越した小論文指導や集団討論を行い、思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。
		商業科生徒の卒業時における全商検定3種目以上1級取得者を85%以上を目指す。 A:85%以上 B:84～80% C:79～75% D:74～70% E:69%以下	A	商業科生徒の卒業時における全商検定3種目以上1級取得者は79名中73名(1月22日現在)である。	来年度も同様の目標達成ができるよう商業科全体で尽力したい。
	就職指導の充実	就職内定率100%を達成する。 A:100% B:99～95% C:94～90% D:89～85% E:84%以下	A	就職内定率100%を達成できた。	引き続き来年度も、目標達成のために頑張りたい。
	進路情報提供の適切度	生徒・保護者に対する適切な進路情報の提供及び保護者との連携への満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89～80% C:79～75% D:74～60% E:59%以下	C	情報提供は生徒の88%、保護者の77%、保護者との連携は73%が満足している。	時期に応じて保護者のニーズに合う資料を配布したり、進路について相談しやすい体制を作る。

家庭・地域連携	家庭連絡の徹底	学校印刷物の適切な配布や伝達を実現する。	B	学校アンケート調査で78%が満足している。	令和元年度は82%であり4%下がっている。今後注意喚起したい。
	PTA活動の充実	理事会・総会・研修会の活性化と参加率50%を目指す。 A:50%以上 B:49~45% C:44~40% D:39~35% E:34%以下	A	9月第1回目理事会は60%の参加。本部役員の参加は90%だった。	新型コロナウイルス対策で、PTA総会、理事会(5月)を中止、北桜祭のPTA参加を中止する。9月の理事会では、60%の参加者があった。次年度以降の、新型コロナウイルス沈静化が待たれる。
	学校評価の充実	学校関係者評価委員会の活性化及び学校評価アンケートの各評価項目において生徒・保護者・教職員、いずれも90%を目指す。 A:90%以上 B:89~80% C:79~75% D:74~60% E:59%以下	C	生徒83.2%、保護者79%、教員75%平均79%	学校評議委員会並びに学校関係者評価委員会を年3回実施して御意見を聞き、学校行事や生徒指導などの改善に役立ててきたが、今年度は行事の縮小などの影響から、昨年の82%を下回った。
	学校ホームページの充実	毎日更新することにより、キャッチボール型学校運営を目指し、月の平均アクセス数1,500以上を目指す。 A:1,500以上 B:1,499~1,200 C:1,199~1,000 D:999~700 E:699以下	A	累計452532人のアクセスがあり、1日平均1544人。(1月18日現在)	今年度は新型コロナウイルス対策でホームページからの情報伝達が増えたこと、毎日ブログ更新が行われたためA評価になったと考える。次年度以降もブログ更新を続けたい。
業務改善	適切な勤務時間	教職員の勤務時間を守り、休憩時間を確保する。業務の効率化を図り、時間の有効活用を図る。	C	コロナの影響で部活動が制限されたため、時間外勤務の時間は減少した。	会議や事務作業を見直し、効率化と精選を図る。
	職場環境の整備	健康保健室だよりや健康診断の結果から健康相談を定期的実施し、教職員の疲労や心理的な負担の軽減を図る。	C	ストレスチェックの結果は昨年度より良好であった。	懇親会等は来年度も自粛により縮小される状況が続くと予想されるが、教職員間の円滑なコミュニケーションが図れるよう明るく和やかな職場環境を確立する。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。